様式１

**REBORN 申請書**

|  |  |
| --- | --- |
| 優先順位（複数申請する場合） |  |

≪以下、年号は西暦でご記入ください≫

申請日：　　　　　年　　　月　　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者所属・氏名 | ○○研究院・○○　○○ | E-mail | \*\*\*@\*\*\*.\*\*\* |

■**高度化・共用化を図る既存の研究設備・機器**

|  |
| --- |
| XXXXXX (本学オープンファシリティの登録機器については、「登録ＩＤ」を記すこと、未登録装置については「登録予定」と記すこと) |

**■本事業で追加する設備・機器名および金額（複数ある場合は、複数記入も可）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **設備・機器名****（メーカー名）** | **金額（千円）****（内、自己資金（千円））** | **自己資金財源名称** | **導入時期・設置場所** |
| YYYYY(○○○○) | 7,000（2,000） | 科研費基盤研究A | 令和４年○月・〇〇 |

必要に応じて記入欄を増やしてください。

■**実施内容**

**１．高度化を行う設備・機器の仕様および用途 （上限800字程度）**

本事業で追加する設備・機器について仕様および、どのような用途を目的とした導入であるかに関して記載すること。

複数ある場合は、どの設備・機器か分かるように、【設備・機器名】を文頭に記載すること。

設備・機器名の後に（○○千円）と金額も記入すること。

【YYYYY】（○○千円）

本設備は・・・

【ZZZZZ】（○○千円）

本設備は・・・

**２．当該設備・機器の運用・共用の考え方 （上限800字程度）**

遠隔利用や自動化等の高度化を図る共用研究施設・設備・機器をどのように運用・共用を行っていくのかを具体的に記載すること。

**３．利用者のニーズ （上限800字程度）**

本学の共用研究施設・設備・機器の中で如何に利用ニーズの高いものであるかを、定量的なデータも交えつつ、具体的に記載すること。

**４. 導入効果 （上限800字程度）**

※研究現場の生産性向上、研究における飛躍的イノベーションの実現に関する効果について、定量的なデータを示しつつ、具体的に記載すること。

【研究現場の生産性向上】

（例）・設備・機器の利用件数・利用人数の増加やその度合

・設備・機器を利用した研究者あたりの実験時間の減少やその度合

【研究における飛躍的イノベーションの実現】

（例）・設備・機器利用以外の知的活動時間の増加やその度合

・設備・機器を利用した論文創出数・特許出願数の増加やその度合